



UL-10998

参考1

H-IIAロケット 36号機 ミッション概要

平成29年6月19日

三菱重工業株式会社
防衛・宇宙セグメント
宇宙事業部

-MHI PROPRIETARY INFORMATION-

1. 打上げ概要

H-IIAロケット36号機により、「みちびき4号機」(準天頂衛星)を所定の軌道に投入する。

2. ロケット及びペイロードの名称及び機数

◇ロケット:H-II Aロケット36号機	1機
・H2A202型	
・4m径フェアリング(4S型)	
◇ペイロード:	
・「みちびき4号機」(準天頂衛星)	1機

3. 「みちびき4号機」(準天頂衛星)の概要

- 準天頂衛星システム(QZSS: Quasi-Zenith Satellite System); 日本の衛星測位システム
 - ・米国GPS(Global Positioning System)を補完した高度な衛星測位サービス(補完機能)
 - ・軌道やクロックの補正情報送信による高精度な測位(補強機能)
- 「みちびき4号機」; 準天頂衛星システム「4機体制の整備」に係る4機目
 - ・2018年度から4機体制のサービスを開始予定

「みちびき4号機」の主要諸元及び形状を表-1及び図-1に示す。

表-1 「みちびき4号機」(準天頂衛星) 主要諸元

項 目	諸 元
名 称	「みちびき4号機」(準天頂衛星)
目 的	GPS補完信号、及び補強信号を送信することにより、より高精度で安定した衛星測位サービスを実現する。
予定軌道	種類 : 準天頂軌道 軌道長半径 : 約 42,164 km 軌道傾斜角 : 約 41 度 離心率 : 約 0.075
設計寿命	15 年以上
質 量	打上げ時質量 約 4 トン
寸 法	2翼式太陽電池パドルを有する箱型 収納時: 高さ 約 6.2 m × 幅 約 2.9 m × 奥行 約 2.8 m (太陽電池パドル両翼端間 : 約 19 m)
電 力	約 6.3 kw (軌道上15年後の発生電力)
ミッション機器	<ul style="list-style-type: none"> ・以下の衛星測位サービス、測位補強サービス用ミッション機器 <ul style="list-style-type: none"> ・衛星測位サービス ・災害・危機管理通報サービス ・センチメートル級測位補強サービス ・サブメーター級測位補強サービス ・測位技術実証サービス ・宇宙環境データ取得装置 (SEDA) 衛星搭載装置の誤動作の評価や不具合時の原因究明に資するデータを取得すると共に取得したデータを衛星設計に反映することを観測の目的とする。 軽粒子観測装置センサ (LPT-S)、磁力計センサ (MAM-S) の2種類のセンサを搭載する。

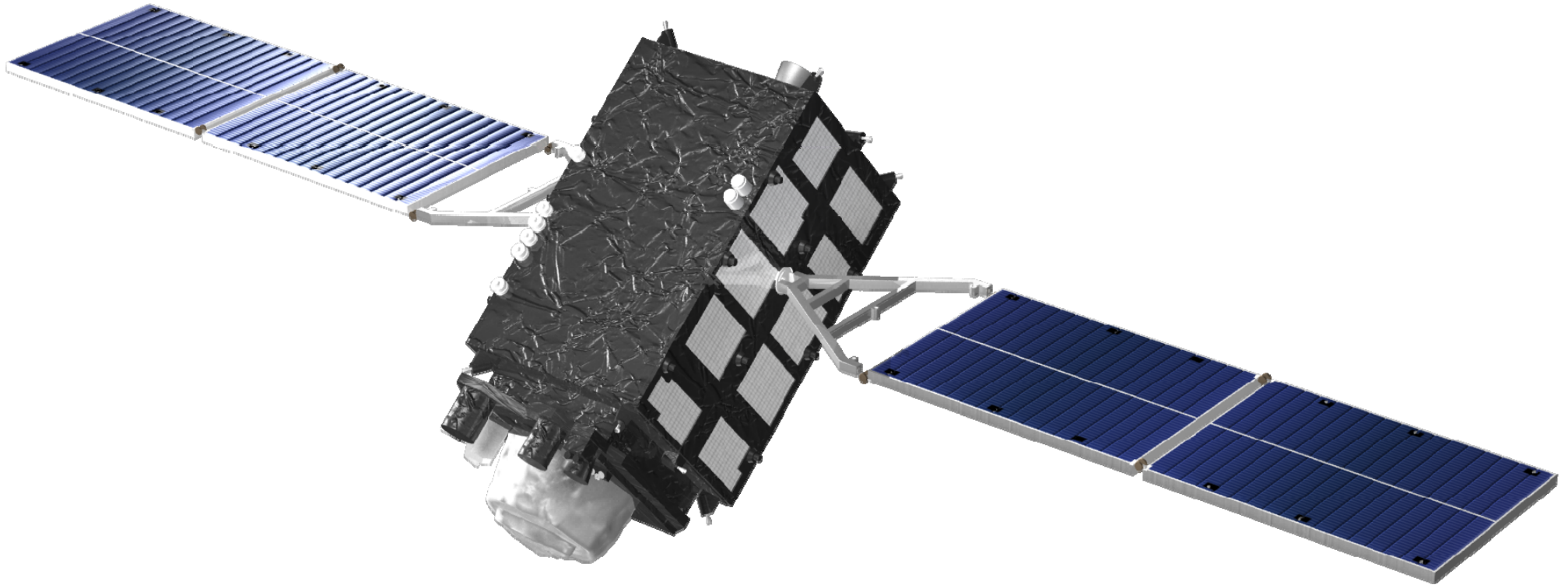


図-1 「みちびき4号機」(準天頂衛星) 軌道上外観図

出典: みちびき(準天頂衛星システム)HPより [<http://qzss.go.jp/overview/download/>]

MOVE THE WORLD FORWARD

mitsubishi
heavy
industries
group